

法学部A方式Ⅰ日程・文学部A方式Ⅱ日程・経営学部A方式Ⅱ日程

3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ペー ジ	科 目	ペー ジ
政治・経済	2～27	日 本 史	28～43
世 界 史	44～62	地 理	64～76
数 学	78～83		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。一度選択した科目の変更は一切認めない。
4. 数学については、定規、コンパス、電卓の使用は認めないので注意すること。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

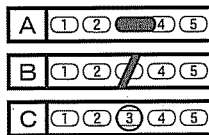
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

6. 問題冊子のページを切り離さないこと。

(世界史)

〔I〕 つぎの文章を読み、下記の問いに答えよ。

2017年ドイツの各地では宗教改革500周年が大々的に祝われた。宗教改革はキリスト教の信仰と教会のあり方を大きく変えた事件であっただけでなく、ヨーロッパ世界の広い地域にわたって政治と社会に変動をもたらした大事件であった。その影響は世界の他の地域にもおよんだ。

14世紀前半に大きな危機を迎えた中世ヨーロッパは、後半には回復局面に入った。人口は増加し、農業生産は増え、商業や手工業の活動が活発化した。これをきっかけに中世の自給自足を旨とする封建社会は変化しはじめた。遠隔地を結ぶ⁽¹⁾商人たちの商業ネットワークはさらに発達し、文化や芸術、学問にたずさわる知識人の活動も再び盛んになった。このように、ヨーロッパの各地域が経済活動や情報を通じてそれまでより緊密に相互に結びつくようになったことが、宗教改革の前提になっている。

ヴィッテンベルクも、こうした流通や情報のネットワークのひとつの結節点であった。この都市は現在のドイツ東部に位置し、エルベ河にのぞむ都市である。当時この地方を支配していたのはザクセン大公国で、とくに1486年に即位した大公フリードリヒ3世がヴィッテンベルクを首都と定めたため、都市は大きく発展することになった。1502年には大学⁽²⁾が設置された。規模は小さなものであったが、イタリアに始まり15世紀後半からドイツにもおよんでいたヒューマニズム(人文主義)の影響が見られた。修道士を目指していたマルティン＝ルターが学び、1512年から教壇に立ったのはこの大学であった。

宗教改革の第1段階は、カトリック教会の積極的な権力拡張政策に端を発する、むしろ哲学的・神学的内容の論争であった。教皇位をめぐる長年にわたる混乱⁽⁴⁾がようやく終息したのち、歴代のローマ教皇は、教会内の体制の再確立と自己の権威と権力の強化に努めた。ローマにあるサン＝ピエトロ大聖堂⁽⁵⁾やシスティナ礼拝堂といった大規模な建築の造営はそのための手段となった。これらの建築費用をま

かなうために、カトリック教会は贖宥状の販売を促進した。カトリックの教義では、信者は日常生活のなかでおかした罪を聖職者の前で神に告白し、赦しを受けるとともに、つぐないをすべきことが定められていたが、贖宥状は金と引き換えに罪をおかしても罰を免れることを保証するものであった。こうした見境のないカトリック教会の金儲けや聖職者の振る舞いは、多くの者に批判された。1517年⁽⁶⁾に「95カ条の論題」を発表したルターも、そのひとりであった。ルターがこの「論題」を自らヴィッテンベルクの城館付属教会の門扉に打ち付けたというよく知られている逸話の真偽は定かではないが、その内容は印刷され、ただちに激しい議論を呼んだ。

当初はこのように贖宥状の販売が神学的に許されるか否かをめぐってはじまった議論であったが、すぐにその範囲を越えて、キリスト教の教義と教会権力のあり方そのものが問題とされるようになった。ルター自身、カトリック側の論客と何度も直接対決し、論争を重ねるなかで、カトリック教会を厳しく批判し、次第に両者の間の亀裂は深まっていった。いっぽう現状に不満を持つ貴族や都市市民の勢力はルターを支持し、その勢いは次第に広がっていった。

宗教改革の第2段階は、カトリック教会を支持する勢力と、それに反対する人々のあいだの政治的社会的対立として進んだ。ドイツでは、ローマ教皇の路線は、同じく勢力拡張を目論むハプスブルク家出身の神聖ローマ皇帝の支持を受けていた。皇帝以外で贖宥状の販売に積極的に関与したのはマインツ大司教アルブレヒト⁽⁷⁾で、彼は贖宥状販売から得られる利益の一部を自分の借金の返済に用いていた。神聖ローマ皇帝カール5世は、1521年、ライン地方の都市ヴォルムスに⁽⁸⁾帝国議会を招集し、そこにルターを召喚した。皇帝の面前でおこなわれた審問において、自説の撤回を拒否したルターに対し、皇帝は帝国追放刑をもって答えた。ここにおいて両派の亀裂は決定的となった。

帝国議会後、ルターはフリードリヒ3世によって自らの郷里に近いチューリンゲンのヴァルトブルク城⁽⁹⁾でかくまわれ、そこで新約聖書のドイツ語への翻訳⁽¹⁰⁾に取り組んだ。この聖書は、ルターやヒューマニストたちの思想とともに活版印刷により広まった。そうした印刷物には簡易なイラスト付きのものも多く、ルターらの思想は文字が読めない人々にも広がっていった。

世界史

こうして、わずか数年のあいだにルターを支持する勢力はヴィッテンベルクからドイツを中心とするアルプス以北の各地へと広がっていった。ここに至り、宗教改革は、第3の局面を迎えた。各地にリーダーが出現し、ルターの影響を基盤としつつ独自の思想を展開し、スイスやフランス、ネーデルラントの主として都市市民たちのあいだに支持を広めた。1525年にはルターの影響を受けた中部および南部ドイツの農民たちが反乱に立ち上がった。カトリック教会を批判するだけでなく既存の社会秩序までも転覆しようとする農民たちに対し、ルターはしかし厳しい反対の姿勢を示し、農民たちの反乱は厳しく弾圧された。その一方でルター一派の貴族や都市は同盟を結成して、皇帝を中心とする勢力と対決するにいたった。両者は武力衝突を繰り返し、1555年にいたってようやく一時的和平が成立した。

この第3の局面では、カトリック側の巻き返しも活発化した。トリエント公会議は1543年から20年以上かかってカトリック教会の教義を立て直し、ヨーロッパ内で信者の再獲得に努めた。さらに1534年、イグナティウス＝ロヨラによって組織されたイエズス会は、中国や日本などでカトリックの布教を積極的に推進した。

問1 下線部(1)に関連して、バルト海・北海で貿易をおこなっていたドイツの各地の都市の商人が結成し、その後北ドイツを中心とする都市間の同盟に発展した組織の名称を解答欄に記入せよ。

問2 下線部(2)に関連して、ザクセンについて述べた下記の文章のうち正しいものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 ザクセン人は、もとは北ドイツ海岸部に住むゲルマンの部族で、カール大帝のときフランク王国に降伏した。
- 2 その一部はブリテン島にわたり、各地で略奪行為をはたらいて、「ヴァイキング」として恐れられた。
- 3 東フランクの有力諸侯であったザクセン家は、神聖ローマ皇帝位を世襲するようになっていたが、11世紀にはローマ教皇と対立してその座を失った。
- 4 オーストリア継承戦争では、バイエルンとともにオーストリア側についてプロイセンと戦った。

問3 下線部(3)に関連して、下記の選択肢のヨーロッパ各地の大学(a～d)と、その大学に関係の深い人物(あ～え)、およびその大学の説明(A～D)の3つの要素の組み合わせのうち、説明の内容を含めて正しいものを下記の1～4の中から一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|--------------|-------------|
| a オックスフォード大学 | あ イブン＝シーナー |
| b パリ大学 | い トマス＝アクィナス |
| c ボローニャ大学 | う フィヒテ |
| d ベルリン大学 | え ロジャー＝ベーコン |

- A イスラームの強い影響を受け、医学教育で有名になった。
- B ハプスブルク家により近代化政策の一環として創設された。
- C ケンブリッジ大学から分離した一部の教授や学生により設立された。
- D もとは神学校であり、国王の保護を受け神学研究が盛んになった。

- 1 a-え-C 2 b-い-D 3 c-あ-A 4 d-う-B

問4 下線部(4)に関連して、14世紀から15世紀初めにかけて、複数の教皇が選出され、各地に分立した時期を何と呼ぶか、解答欄に記入せよ。

世界史

問5 下線部(5)に関連して、サン＝ピエトロ大聖堂に関係した芸術家たちとその作品について述べた下記の文章のうち、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 当初大聖堂の設計にあたったブルネレスキは、のちにフィレンツェでサンタ＝マリア大聖堂を建設した。
- 2 ラファエロは、画家として「アテネの学堂」などの作品で知られているが、建築家として大聖堂の設計にも携わった。
- 3 ミケランジェロは大聖堂の大ドームを手がけ、さらにシステナ礼拝堂の壁画「最後の晩餐」を担当するなど、ローマ教皇と関係が深かった。
- 4 大聖堂にはレオナルド＝ダ＝ヴィンチの「モーセ」が飾られる予定であったが、完成しなかった。

問6 下線部(6)に関連して、カトリック教会に対する批判をおこなった人物(a～d)と、その人物についての説明(A～D)の組み合わせのうち、説明の内容を含めて正しいものを下記の1～4の中から一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|-----------------|----------------|
| a ウィリアム＝オブ＝オッカム | b ラブレー |
| c フス | d ジョルダナーノ＝ブルーノ |

- A フランスの作家で、教会を厳しく批判した内容を含む空想的な風刺小説を発表し、禁書処分を受けた。
- B イギリスの神学者で、教皇に反対して汎神論を唱えたため火刑に処された。
- C ドイツの神学者で、教会批判のため処刑されたが、そのあと彼の支持者たちは抗議して反乱に立ち上がった。
- D 地動説を唱えたイタリアの天文学者で、カトリック教会により自説の放棄を強要された。

- 1 a-B 2 b-A 3 c-C 4 d-D

問7 下線部(7)に関連して、マインツ大司教がそのひとりである神聖ローマ帝国の選帝侯の制度や皇帝の選挙について述べた下記の文章のうち、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 神聖ローマ皇帝は初代のカール大帝以来、諸侯の選挙によって選ばれる習わしであった。
- 2 大空位時代はシュタウフェン家出身者の皇帝選出によって終止符を打たれた。
- 3 金印勅書によって定められた7人の選帝侯のうち、マインツ大司教以外の聖界諸侯はケルン大司教とトリール大司教であった。
- 4 16世紀になるとハプスブルク家出身者が皇帝位を世襲するようになり、選帝侯による選挙は形式的なものになった。

問8 下線部(8)に関連して、神聖ローマ帝国の帝国議会をはじめとする各国の身分制議会について述べた下記の文章のうち、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 イギリスの身分制議会は、ジョン王の失政に反対してシモン＝ド＝モンフォールを中心とする貴族たちが集まったものが最初である。
- 2 三部会と呼ばれるフランスの身分制議会は、国王の命令で開催されるもので、ナントの勅令廃止をきっかけにフランス革命直前まで開かれなかった。
- 3 ポーランドの身分制議会では、シュラフタと呼ばれる地主貴族が強い力を持った。
- 4 神聖ローマ帝国解体後につくられたドイツ連邦の議会は、もはや身分制ではなく、25歳以上の男子普通選挙によって選ばれた。

世界史

問9 下線部(9)に関連して、ヴァルトブルク城について述べた下記の文章の空欄 ～ に最も適当な語句を語群より選び、その番号を解答欄にマークせよ。

ヴァルトブルク城は、ドイツの歴史上さまざまな逸話に彩られた場所である。中世にはこの地には たちが集まって歌合戦をおこなったという伝説がある。彼らは各地の宮廷に出入りし、騎士道にもとづく女性への愛を歌った。中世では騎士たちを主人公とする文学作品も多くつくられ、有名な作品には『アーサー王物語』、 などがある。ルターによる聖書翻訳や、これらの故事は、19世紀になると再発見された。小国の分裂状態にあったドイツを統一しようとする の気運が高まり、ヴァルトブルク城はドイツ共通の文化の故郷のひとつと考えられるようになった。1817年には、ドイツの統一と自由を要求する学生団体 がこの地に集まり、政府を批判する集会を開いて弾圧されるという事件が起きている。 や中世文学も の風潮の中で再発見され、題材として取りあげられた。ヴァルトブルク城を舞台とした歌合戦をテーマとするオペラ『タンホイザー』を作曲したのは、ドイツを代表する の作曲家ワーグナーである。彼は をもとにした4部作からなる長大な楽劇も作曲している。また、イタリアではやはり の作曲家 が、 を主人公とするオペラ『トロヴァトーレ』を作曲した。そのほか彼の代表作は『リゴレット』、『椿姫』などである。

語群

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 ヴェルディ | 2 カルボナリ |
| 3 吟遊詩人 | 4 古典主義 |
| 5 ジプシー | 6 巡礼 |
| 7 青年ドイツ | 8 ドイツ社会主義労働者党 |
| 9 『ドン＝キホーテ』 | 10 ナショナリズム |
| 11 『ニーベルンゲンの歌』 | 12 バロック |
| 13 プッチーニ | 14 ブルシェンシャフト |
| 15 ベルリオーズ | 16 ロマン主義 |
| 17 『ローランの歌』 | |

問10 下線部(10)に関連して、ヨーロッパおよび周辺地域の翻訳文化について述べた下記の文章から、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

1. 4世紀の教父アウグスティヌスは、ヘブライ語で書かれていた聖書を、はじめてラテン語に翻訳した。
2. 9世紀、バグダードにできた「知恵の館」では、ギリシア語の文献が大量にペルシア語に翻訳された。
3. 12～13世紀、イスラーム勢力が支配していたイベリア半島のトレドには、翻訳学校が設けられ、さまざまな文献がアラビア語に翻訳された。
4. 14世紀のイギリスの神学者ウィクリフは、聖書中心主義を唱えてローマ教皇を批判し、聖書の英語訳をつくることを提唱した。

問11 下線部(11)に関連して、この反乱の名称を解答欄に記入せよ。

問12 下線部(12)に関連して、この妥協の名称を解答欄に記入せよ。

世界史

問13 下線部(13)に関連して、トリエント公会議以外にもカトリック教会が開催した公会議がある。その名称 a～e とその説明 A～E の組み合わせから、説明の内容を含めて正しいものを下記の 1～5 の中から一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- a カルケドン公会議 b クレルモン公会議(宗教会議)
c コンスタンティノーブル公会議 d ラテラノ公会議
e ニケーア公会議

- A 1414年から1418年にかけて神聖ローマ皇帝ジギスメントが招集した。
B 教会の教義統一のため、現在の南仏にあるニースの地に325年に招集された。
C 教皇インノケンティウス3世の主導のもと、第1回十字軍の派遣が決定された。
D 1215年に召集され、第4回十字軍の派遣が決定された。
E 招集したのはローマ皇帝コンスタンティヌスで、彼はその後キリスト教を国教とした。

- 1 a-A 2 b-C 3 c-E 4 d-D 5 e-B

この問題は適切な回答が存在しないため、全員正解とする。

〔Ⅱ〕 次の文章と後掲の短歌 a～j を読み、下記の問いに答えよ。

『台湾万葉集』という歌集がある。台湾が日本の統治下にあった時代に、日本語で教育を受け、短歌で生活や感情を表現することを覚えた世代の人々が、日本の統治終了後も作り続けた歌を集大成した歌集である。そこに収められた短歌からは、激動の台湾史を生き抜いてきた台湾人の人生や心の内を読み取ることができる。

① 日本による台湾領有後、台湾を統括する役所として台湾 が置かれ、そのもとで鉄道の敷設、新しい教育制度の導入など、近代的な諸制度が矢継ぎ早に実施された。日本語をはじめ、日本式の生活様式も台湾に浸透した。

一方で、支配に対する抵抗は、台湾の割譲を阻止しようとする台湾民主国の建国を皮切りに、統治の初～中期は武力による蜂起も複数発生した。しかし、その後は台湾議会の設置運動など、統治の枠内でより自分たちの主張を反映させようとする、言論を中心とした比較的穏健なものに変わっていった。1930年に、先住民による激しい抗日闘争^③が起きるが、この時期としてはむしろ例外的なものと言えよう。この時期以降、日本は中国大陸へ侵略の手を伸ばし、とりわけ日中戦争^④の開始以降、戦闘が激化していく。台湾人にも徴兵令が適用されるが、中国の側ではなく、日本軍兵士として戦争に動員されていく立場は、cやdの歌にみるように、当時ないし後の時代から捉えた場合、内心複雑なものがあつたであろう。

1945年8月、日本の敗戦により、長く続いた日本の植民地支配は終わる。しかし、その後に始まった国民政府による統治は、eの歌にみるように、もともと台湾に暮らしていた人々(本省人)からすれば、必ずしも解放を意味しなかった。むしろ台湾戦後史で最大の出来事とも言える1947年の 事件をはじめとして、戦後にやって来た外省人と本省人との衝突や、蔣介石政権による投獄・処刑^⑤などの血生臭い事件が相次いで起き、戒厳令のもとで住民たちの生活は極度に圧迫された。国際的にも 年、中華人民共和国が国連メンバーとして迎えられたのと同時に、台湾は国連や他の国際機関から追われ、かつて国交を結んでいた国からも断交を迫られるなど、苦境に立たされた。

しかし、1980年代末、 が本省人として初めて総統に就任すると、経済の繁栄を背景に民主化の諸政策が進められた。戒厳令が解除され、前述した

世界史

B 事件に関しても再評価がなされ、関係者が名誉回復されるなど、台湾は発達した経済と民主化された多様な価値観をもつ国ないし地域として、存在感を増している。対立し、一時は砲火すら交えた中華人民共和国との険悪な関係も、^⑥物資や人的な交流が進むなどして徐々に改善している。

もちろん、『台湾万葉集』はこうした歴史的な事象のみが題材ではなく、むしろ大半は日常生活やその中で感じる喜怒哀楽などを平易な言葉で、ときにはユーモアをまじえて詠み込んだ歌である。たとえば、自分の加齢を皮肉ったfの歌や、孫に温かい視線を注ぐgの歌はその一例であろう。^⑦hの歌は歴史的な経験に触れつつも、^⑧自分がいま経営する会社の窮状をユーモアたっぷりに歌うところに眼目がある。

全体として、日本統治時代を懐かしむ歌も少なくない。それは、台湾が多様な民族構成をもち、国民党や中国共産党との関係で複雑な戦後史を経ている分、iやjの歌のように多文化・多言語が混在し、^⑩結果的に対日観も相対化されるためだという分析が可能かもしれない。^⑪

いずれにしても、こうした文学作品を通じて歴史は学べるのであり、自らに引き付けて、より身近に感じられることであろう。それこそが、まさに生きた歴史の学習である。

- a **E** 桜又も咲きけり恨み持つ花岡一郎、二郎は死すとも
b 昆明の向うにつづくビルマルート二次大戦の幻の顛つ
c 髪と爪残して征くと十八の日記に記せし学徒兵のわれ
d 「地の涯にわが故郷はつづけり」と敵機追いつつ心揺るがす
e 空襲に生き永らえし命をば国軍の手に落とせしがあり
f デカルトも西田も今は何かせん書籍を重ねて腰痛凌ぐ^{しの}
g 進る個性美見せてピカソの絵わが孫の絵もややそれに似る^{ほとぼし}
h 「グラマン」の追うがに手形の期限迫る「零戦」ならぬ零銭会社に
i 日本語と台湾語混じる北京語のおとぎ話に孫ふくれ面
j 異つ国となりて久しきこの島に味噌をなめつつ沢庵かじる

(＊旧かなづかいを現行のものに改めた。)

問1 下線部①に関連して、日本の統治下に入る前にも、台湾にはさまざまな外来勢力がやって来て、統治を試みた。このうち、17世紀にゼーランディア城を台湾進出の拠点とした国の国名を解答欄に記入せよ。

問2 下線部②に関連して、台湾が日本の統治下に入った時期より前にアメリカが自国領とした場所を次の選択肢から一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 アラスカ 2 グアム 3 ハワイ
4 フィリピン 5 プエルトリコ

問3 文中の空欄 に入るにふさわしい語句を次の選択肢から一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 統監府 2 総督府 3 総統府 4 立法府 5 都督府

問4 下線部③の1930年に先住民の抗日闘争が起きた場所が、aの歌の空欄 に入る。その地名を次の選択肢から一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 基隆 2 高雄 3 霧社 4 花蓮 5 玉山

問5 下線部④に関連するbの歌にあるビルマルートとは、援蔣ルートの一つで、奥地に首都を移し抗戦を続ける蒋介石政権に対し、連合国がここを通過して支援物資などを運んだものである。このルートが通る中国の省の名前を次の選択肢から一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 陝西省 2 山西省 3 貴州省 4 広東省 5 雲南省

問6 文中の空欄 に入るにふさわしい語句を解答欄に記入せよ。

世界史

問7 下線部⑤の蔣介石に関する以下の文のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 孫文が設立した黄埔軍官学校の校長を務めた。
- 2 上海でクーデタを発動し、共産党員や労働者を虐殺した。
- 3 抗日を最優先と考えた張学良により、西安で監禁された。
- 4 連ソ・容共・扶助工農の政策を自ら立案し、推進した。

問8 文中の空欄 に入る年を次の選択肢から一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 1965 2 1968 3 1971 4 1975 5 1978

問9 文中の空欄 に入る人名を解答欄に楷書体の漢字ではっきりと記入せよ。

問10 下線部⑥の事例として、1958年に台湾海峡の金門・馬祖で両者の戦闘があった。1950年代の中国に関する説明として誤っているものを次の選択肢から一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 周恩来を主唱者の一人として、インドネシアでアジア＝アフリカ会議が開かれた。
- 2 中国も人民志願軍を出して参戦した朝鮮戦争が、長期にわたる休戦会談を経て休戦に至った。
- 3 農業の集団化が段階的に進み、人民公社がつくられた。
- 4 珍宝島(ダマンスキー島)で、ソ連との間に国境をめぐる軍事衝突があった。

問11 下線部⑦にある f の歌で触れられたデカルトについて、もっとも関係の深い項目を次の選択肢から一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 「われ思う、ゆえにわれあり」
- 2 「最大多数の最大幸福」
- 3 『リヴァイアサン』
- 4 『純粹理性批判』
- 5 『法の精神』

問12 下線部⑧にある g の歌で触れられたピカソに関連して、以下に掲げる画家のうち、ピカソより生年が遅い人物を一人選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 ゴッホ
- 2 マネ
- 3 ダリ
- 4 ルノアール
- 5 ゴーガン

問13 下線部⑨にある h の歌に登場する「グラマン」「零戦」は、第二次世界大戦中のアメリカと日本の代表的な戦闘機である。これに関連して、兵器やその開発に関して述べた以下の文のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 戦車を使つての戦闘は、第一次世界大戦を特徴づける現象の一つになった。
- 2 原爆の実戦での使用は、広島に投下されたものが第一号である。
- 3 アメリカは1950年代、ムルロア環礁付近で水爆実験を繰り返した。
- 4 化学兵器を禁止する多国間条約が、1990年代に入ってからつくり、発効した。

世界史

問14 下線部⑩に関連して、いずれの国家・地域でもいわゆる純粋な文化や言語はありえず、多かれ少なかれ他者から影響を受けるなかで、混交や変容を繰り返している。過去の歴史からベトナムの現在の文化にもっとも強く影響を残しているヨーロッパの国を次の選択肢から一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|--------|--------|-------|
| 1 イギリス | 2 フランス | 3 ドイツ |
| 4 オランダ | 5 スペイン | |

問15 下線部⑪に関連して、韓国の対日観形成に大きく関係しているのは、言うまでもなく日本の朝鮮植民地支配である。その中で起きた以下の6つの事項を古いものから新しいものへと時代順に並べたとき、最初から4番目となるものを選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|-------------|------------------|
| 1 「文化政治」の開始 | 2 武断政治の開始 |
| 3 朝鮮人の強制連行 | 4 関東大震災時の朝鮮人虐殺事件 |
| 5 三・一独立運動 | 6 創氏改名 |

〔Ⅲ〕 次の文を読み、以下の問いに答えよ。

コロンブスの航海距離の見積もり違いにより「発見」されたとされるアメリカでは、先住民の住む世界にヨーロッパ人が侵入する形で、次々と境界地帯が形成されていった。こうしたアメリカにおけるヨーロッパの境界地帯は、大西洋兩岸地域をつなぐ貿易と情報の流通網に組み込まれる形で、植民地として発展していく。この流通網の発展に重要な役割を果たしたのが、ヨーロッパ・南北アメリカ・アフリカの各大陸の長距離河川交通であった。北アメリカにおいては海洋と河川の双方で交通が発達し、また両者が連結されることで、植民地が拡大していくことになる。16世紀後半にはスペイン人がフロリダのセントオーガスティンに砦を築いている。また、スペイン人は、⁽¹⁾ニューメキシコのリオ・グランデ川沿いに入植し、ラテンアメリカにおける植民地と同様に、先住民の統治委託制度 **ア** を導入していった。一方フランスは、セントローレンス川流域から五大湖地域にかけて宣教師や毛皮商人たちが探検を行い勢力圏を拡げていった。また、17世紀末に **イ** 川流域地域を探検したラ＝サールがフランス領有を宣言した **ウ** において植民地を設け、西アフリカのセネガル川やガンビア川流域地域から連れてきた黒人奴隷に、米などの換金作物をプランテーションで栽培させていった。

こうした換金作物のプランテーションにおける黒人奴隷の使役は、奴隷貿易を拡大させていく。北アメリカへの黒人奴隷供給数で群を抜いていたのはイギリスであった。イギリスの北アメリカ最初の植民地は、ジェームズ川河口付近に建設されたジェームズタウンであった。このジェームズタウンを起点に拡大した **エ** 植民地に大きな富をもたらしたのが、ヘリザベス女王時代のイギリスで嗜好品となっていた **オ** であった。先住民が **オ** を植えているのを目を付けたポカホンタスの夫ジョン・ロルフが、**エ** 植民地で **オ** を栽培を始めたと言われている。当初 **オ** は、先住民や白人の年季奉公者によって栽培されていたが、次第に黒人奴隷を使役した大規模プランテーションで栽培されるようになっていく。換金作物を生産する奴隷制プランテーションは、隣のカロライナ植民地においても発達していった。カロライナ植民地はピューリ

(2)

世界史

タン革命によって国外に亡命していた貴族らが、チャールズ2世のイギリス国王復帰を援助した見返りに与えられた土地に建設された植民地で、アシュレイ川とクーパー川が合流する半島につくられた首都チャールストンを中心に発展していった。18世紀初頭、カロライナ植民地は、ノースカロライナとサウスカロライナの2つに分かれるが、いずれの植民地においても黒人奴隷による米のプランテーション栽培が盛んに行われていく。結果的にサウスカロライナは、イギリスの北アメリカ植民地の中で唯一、黒人奴隷人口が白人人口を上回る植民地となった。こうした黒人奴隷に経済的に大きく依存した南部の植民地と比べ、ピルグリム＝ファーザーズの入植を起源に発展した北部のニューイングランド植民地では、黒人奴隷の人口はかなり少なかった。とはいえ、ニューイングランドが経済的に奴隷貿易と無縁であったかという点必ずしもそうではなかった。というのも、ニューイングランドの農作物の主な消費者は、西インド諸島の黒人奴隷であったからである。

このように、北アメリカの経済は、⁽⁵⁾ 奴隷貿易をはじめとする大西洋を挟む両岸間の商業・貿易・流通のネットワークと密接な相互依存関係にあり、北アメリカの生産物の多くは、このネットワークに乗って消費地へと運ばれていった。例えば、ニューイングランドでとれた魚はイベリア半島の港に送られ、そこから内陸へと運ばれ消費された。また北アメリカで生産された米は、ペルーやアルゼンチンから黒海沿岸を含む広大な地域で売られるとともに、ドイツなどヨーロッパ諸国でも多く消費された。さらに、北アメリカ産の オ は、全ヨーロッパの消費量の半分をまかなっていた。

大西洋をまたぐ貿易や物流のネットワークは、経済だけでなく宗教においても密接な相互連関をつくりだした。例えば、ピューリタン諸派はイギリス、ニューイングランド、アイルランド、オランダ、西インド諸島の5つの地域を結ぶネットワークを通じて、神学、政治から個人に関する情報までを共有し合っていた。また、クウェーカー教徒の避難地としてウィリアム・ベンが設立したペンシルヴェニア植民地には、⁽⁷⁾ ヨーロッパからメノナイト派やモラヴィア兄弟団などの信者も、信仰の自由を求めてやってきた。さらに、ドイツのルター派敬虔主義者たちも、ロンドンにおけるルター派組織と協力関係を築きながら、迫害を受けたドイツ人プロテスタントを北アメリカに移住させていった。このように、北アメリカの植民地は大西洋をまたぐ人・モノ・情報の流通網の形成と連動しながら発展すると同時に、経済や宗教の環大西洋ネットワークの構築にも深くかかわっていたのである。

問1 文中の空欄 ～ に入る最も適切な語句を解答欄に記入せよ。

問2 下線部(1)に関連して、以下の文章のうち正しいものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 フレンチ＝インディアン戦争の終結後に締結されたパリ条約により、フロリダはスペインからフランスに割譲された。
- 2 アメリカ＝メキシコ戦争に勝利したアメリカは、フロリダを獲得した。
- 3 アメリカ独立戦争後に締結されたパリ条約により、フロリダはアメリカ領となった。
- 4 アメリカは1819年にスペイン領フロリダを買収した。

問3 下線部(2)に参加し、ピューリタンの価値観や生き方を模索した作品を世に出した作家ミルトンの代表作である長編叙事詩の題名を、解答欄に記入せよ。

問4 下線部(3)の結果として起こった出来事を、以下の1～4から一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 立憲君主制が成立した。
- 2 共和制が終わった。
- 3 国王至上法が制定された。
- 4 啓蒙専制主義体制が敷かれた。

問5 下線部(4)の北アメリカ入植のきっかけをつくったとされるジェームズ1世は、 を唱えて政治を行い議会と鋭く対立した。 に入る最も適切な思想の名称を、解答欄に記入せよ。

世界史

問6 下線部(5)に関連して、以下の文章のうち正しいものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 サンサルバドル島は1510年にコロンブスが最初に到達したとされる島で、ポルトガルのキリスト教布教の拠点となった。
- 2 パナマは探検家カブラルにより1513年に発見され、スペイン領となった。
- 3 キューバはアメリカ=メキシコ戦争後、アメリカ合衆国に併合され、現在も合衆国の自治領である。
- 4 グレナダは1983年にアメリカ合衆国の侵攻を受けた。

問7 下線部(6)に関連して、以下の1～4の文章を古い順から正しく並べた時、一番最初に来る文章の番号を解答欄にマークせよ。

- 1 ウェストファリア条約により、オランダの独立は認められた。
- 2 アンボイナ島でオランダ商館員がイギリス商館員やその日本人傭兵らを殺害し、イギリス勢力を一掃した。
- 3 平戸にあったオランダ商館が、長崎の出島に移った。
- 4 第2次イギリス=オランダ戦争後のブレダ条約により、ニューネーデルランド植民地のイギリス領有が確定した。

問8 下線部(7)の宗派の教徒としてイギリスで二人目の国会議員となり、自由主義政治家としてコブデンとともに穀物法廃止運動を推進した人物の名前を、解答欄に記入せよ。